



■発行所
福井市大手3丁目2番18号
県農業会館内
福 井 県 農 政 連
電話 (0776) 27-8265

■発行責任者
伊 阪 民 裕

第68回農政連定期総会開催される

福井県農政連の第68回定期総会が、5月25日(月) 福井市の県農業会館で開催されました。総会には県下の各支部から代議員・委任状合わせて245名が出席。鷺頭美央副知事をはじめ、兼井大県議会副議長、今洋佑衆議院議員、県議会議員の農政議員など多数の来賓を迎え開かれました。

開会の挨拶で岡田高大会長は、昨年の参議院選で福井選挙区の滝波宏文氏が3期目当選に加えて、全国比例区では系統候補の東野秀樹氏が初当選できたこと、2月の衆議院選挙では福井1区の稲田朋美氏が8期目当選を果たしたこと、さらには県・各市・町の首長選挙活動支援に対し、盟友にお礼を述べました。

続けて、「米の状況に関しては7年度の作況は全国で102、福井県で103となっており、生産者米価、消費者米価とも過去最高値をつけていますが、消費の減少と昨年度政府放出の備蓄米により今年6月末の流通在庫は適正値を大幅に超える事が予想され、今年に入り銘柄米においても店舗での価格は下落を続けています。今年4月に施行された食料システム法により生産者、消費者とも相互に理解出来る価格設定が求められています。今年4月には米穀安定供給確保支援機構による米の生産コストの指標が出ていますが、直近の中東での戦争により、原油輸入量の減少、燃料・肥料・包装資材をはじめとする様々な農業資材の高騰が、今後の生産コストを高める事が想定されます。また、農水省による令和9年度からの新たな水田政策が今年6月を目途に取り纏められますが、食料安保政策



を基本とした、農業者が安定した食料供給と農地の保全が出来る政策を求めます。我々農政連は、持続可能な福井県の農業・農村づくりに向けJAと一体となった取り組みを強化し、5年間の基本計画の中での構造転換は生産者の為になされることに注視していく。農政に尽力してもらえる首長、議員が選出されるよう努めたい。」と挨拶しました。

引き続き総会では、議長には高浜町支部の井ノ元康夫氏が選出され、令和7年度活動報告と収支決算書、令和8年度活動計画と収支予算書が原案通り可決決定されました。総会に先立ち、長年農政連活動に尽力された役員の皆さんに感謝状が送られました。



特別表彰の山本八郎氏

永年勤続表彰

▽特別表彰(所属支部・分会)

(20年以上の表彰)

山本 八郎様(南条支部・王子保分会)

▽普通表彰(所属支部・分会)

(10年以上の表彰)

加藤 高則様(福井市支部・北部分会)

谷口 善一郎様(福井市支部・美山分会)

島田 義信様(福井市支部・美山分会)

内田 修次様(福井市支部・足羽分会)

村上 真也様(坂井市支部・三国分会)

黒田 宗雲様(大野市支部・阪谷分会)

真田 権右衛門様(鯖江市支部・新横江分会)

猿橋 啓一様(おい町支部・大飯分会)

森井 宏一様(若狭町支部・上中分会)

▽事務局表彰(所属支部)

(10年以上の表彰)

山口 忠勝様(坂井市支部)

令和8年度主な活動計画

組織基盤強化

- 支部・分会活動の強化に取り組み、盟友拡大に取り組む
- 担い手農家・集落営農組織・農業法人・JA青壮年部・女性部との連携強化

農業・農村政策の継続した取り組み

- 生産コストの生産物への価格反映に向けた取り組み
- 中山間地農業の再生産可能な補助金等の要請
- 食料・農業・農村基本計画に対応する予算措置の要請
- 地域農政推進のための、市・町に対する支部による要請
- 転作助成金・水田活用の直接支払交付金等の予算確保

農業者の意思反映に向けた政治基盤確立の取り組み

- 国会議員との関係強化・農政懇談会を県又は支部組織で開催
- 知事・市長・町長と語る会の開催
- 県議会議員との関係強化・意見交換会等の開催
- 令和10年7月に実施される第28回参議院議員通常選挙に向け、前回の第27回参議院通常選挙の取り組みと課題を踏まえ、改めて全盟友・JA役職員が危機感を共有する中、農政運動の意義と必要性、組織代表を擁立する意義等を全組織で確認し、農政学習運動を展開する。

農業者の権利と環境を守る取り組み

- 有害鳥獣被害防止対策をはじめ、稲カメ虫の公共用地草刈り対策要請
- 農村環境を阻害する要因解決のための支援

教育広報活動の取組

- 農政連幹部研修会の開催
- 農政連情報発信強化
- SNS利用の発信(HIP)
- 公職選挙法等に関する研修会開催
- 農政運動で実現した制度、予算、税制等の結果の明示により農政運動の意義や必要性の理解増進

東野ひでき参議院議員 (系統推薦) 活動報告

【12月農林水産委員会での初質問】

令和9年度に向けて、水田政策の見直しや畑作物のゲタ対策についても現場実態を踏まえた見直しが行われる方向ですが、畜産・酪農においても同様に、食料システム法や現場実態を踏まえ、再生産、再投資を可能とする経営安定対策、適切な見直しを切望する声が生産現場から多く聞かれております。この畜産、酪農の経営安定対策の今後の対策について、農林大臣の御所見をお伺い致します。



藤木しんや参議院議員 (系統推薦) 活動報告

【中山間地を元気にする委員会に出席】

5月25日自民党「中山間地を元気にする委員会」が開催され、農水省より中山間地域等直接支払・多面的機能支払の現状について説明があった後、今年度の骨太方針に向けた「中山間地農業を元気にする構造転換に向けた集中強化対策に関する提言骨子案」が提示され、出席議員による意見交換が行われました。私は「プッシュ型支援の転換というが、それも受け止めきれないくらい弱っている地域も多い。現行より支援が増えないと中山間地は切り捨てられるのだと受け取られるような状況だ。現行以上の支援と予算増額の獲得に向けた記載を提言に盛り込むべき。」と意見させていただきました。



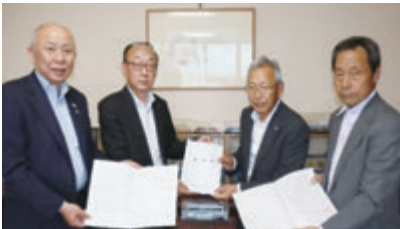
令和7年度 福井県農対本部の取り組み報告

”生産現場からの積み上げによる
政策の実現を求めて”

福井県農業再編対策推進本部は、農政連、JA、中央会、各連合会、青壮年部、女性部で構成され、水田面積にもとづいて拠出したいた運動資金をもとに、組合員の営農と生活を守る運動に取り組んでいます。本年も農業・農政課題にかかると要請や、福井米の品質向上に向けた活動、さらには地産地消運動を基本とした農産物消費拡大運動、食農教育の推進を行いました。

(文責：JA福井県中央会 農政生活部 農政生活課)

持続可能な地域農業への支援対策の実施 地域の実態に応じた要請活動



稲カメムシ防除に関する要請



水稲作柄公表に関する要請

①JA福井県、JA越前たけふ、農政連各支部と連携し、稲カメムシ等の防除に関する要請6月10日・11日(JR西日本、国土交通省、えちぜん鉄道、福井鉄道、中日本高速道路、ハビラインふくい)に行った②水稲作柄公表に関する要請9月10日(北陸農政局福井拠点)に行った。

政策確立に向けた取り組み

①令和7年度「食料・農業・地域政策推進全国大会」が5月13日東京都内にて開催され、与党政策責任者との意見交換等を通じ、持続可能な農業・農村の実現と食料安全保障の強化に向けた取組について、認識の共有化を図った。

本大会は、全国農業協同組合中央会と全国農業者農政運動組織連盟の皆様が一堂に会し、食料・農業・農村基本法に基づいた今後5年間の基本計画において食料安全保障や予算確保等の意思を改めて結集して目指していくものである。



②8月9日に農業会議、県中央会、農政連、土地改良連合会、農業共済組合が一堂に、県選出の国会議員に向けて農業農村の維持発展のため、諸課題に関する解決策を取り纏め情報共有を図り対策を講ずるよう要請した。また9月9日には同じく関係5団体で、農業者が意欲的に取り組める支援について知事と意見交換を行い、国への働きかけと同時に支援の要請を行った。

③10月28日JA県中央会と農政連16支部の支部長が、県議会議員「農政議員団との意見交換会」を開催し、農業・農村の維持発展に向け、農業者が意欲的に取り組める環境づくりの支援について意見交換を行った。支部からの意見では鳥獣害の被害対策など、県下共通した要望があった。



水田農業対策

8月2日米全量出荷運動として、北陸3県合同で日本農業新聞へ広告を掲載し、JAへの集荷を呼びかけた。また担い手訪問にかかる資材(手袋)を制作し、JAの出向く体制に貢献した。



行政・県農業再生協議会と一体となった取り組み

①市町・JAへの経営所得安定対策等の推進。県農業再生協議会と連携し、事務担当者会議を開催し、情報の共有化や協議を図った。②8年産米の生産数量の目安。国が示した8年度の全国の需給見通しに基づき、福井県産米の生産数量の目安の考え方について「需要に応じた米生産に係る地域農業再生協議会・市町・JA合同会議」(8月8日・10月20日・12月19日)を開催し、地域農業再生協議会・各市町・JAへの配分方針につなげた。

食農教育の実践と地域農産物消費拡大対策の実施

「国消国産」話そう、福井の農家のこと」

①CM・啓発ポスター作製。食料安全保障の強化と食料自給率の向上を目指して「国消国産」の意義や考え方について県民理解の情勢を進める為にCM・ポスターを製作した。②新米「いちほまれ」おにぎり配布。「国消国産」の運動に合わせて、JR福井駅周辺やJA直売所等において、新米「いちほまれ」おにぎりを一般消費者に配り、消費者に対して地産地消の意義の浸透を図った。(10月1日、2日、11月1日)③チャレンジ子ども農業体験事業。食農教育事業の一環として、県内12校へ稲作などの農業体験の実施にかかる推進と支援を行った。④第50回ごはん・お米とわたし作文図画コンクール。作文の部に1,160点、図画の部1,233点の応募があった。審査会を開催し、(10月7日、8日)、審査の結果、知事賞に「作文の部」で東十郷小学校の小林洸大さん、「図画の部」では南越中学校の小垣窓可さんを選んだ。「作文の部」、「図画の部」合わせて18点を全国コンクールに出展し、全国段階において作文部門で、優秀賞に2点選ばれた。(全国審査会…作文11月11日、図画11月14日)

JR福井駅西口でのおにぎり配布



作況反収指数とは？ (用語解説)

これまでの毎年秋季に発表していた水稲作柄の目安となる「作況反収指数」を廃止し、新たに「作況反収指数」を示した。70年間続いた作況反収指数は直近30年間のトレンドから算定するが、近年の温暖化の影響が反映されず、生産現場の実感と乖離が生じているとの声があり、今回の「作況反収指数」では直近5年間の上下を除いた3ケ年で平均値を取り指数を公表する。

県議会農政議員団の皆さん

氏名	清智	中綾	松典	畑幸	後邦	福正	山光	酒修	笹直	南嘉	森治	渡彦	山猛	兼大	田三	田彦	山康	細川	時本	宮俊	三士	中輝	力昭	小西	西本	松宏	田中
所属	北部	東部	西部	西部	南部	足羽	美山	永平寺	金津	丸岡	丸岡	春江	小山	上庄	北郷	舟津	神明	越前町	武生	味真野	吉野	敦賀市	三方	小浜	小浜	高浜	

計27名(順不同) (敬称略)

あとがき

令和7年度は3市・4町の首長選挙、参議院選挙、衆議院選挙と選挙の年でしたが、来年(9年)4月には統一地方選挙で県議会議員選挙、市町の議会議員選挙があります。農政連では我々の活動に賛同する、理解のある候補者を推薦し全力で応援します。

農政連ホームページ



右のQRコードで農政連のホームページにアクセス下さい。その時々々の活動内容をお知らせしています。ご意見も頂ければ幸いです。